

集 報

63年12月～3月

於 会議室(研究所内)

“Buddhism and Feminism”

University of Wisconsin- Eau Claire

Prof. Dr. Rita Gross

* 二月二十八日(火) 午後四時十分

於 会議室(研究所内)

「チベットの宗教について」

Ngawangthondap Narkyid 氏

◇ 研究所委員会

* 一月十七日(火) 十二時

於 小会議室(研究所内)

一、一九八九年度「一般研究」の選考

について

* 二月十三日(月) 教授会終了後

於 博綜館第三会議室

一、一九八九年度「一般研究」の組織

変更について 一件

◇ 研究所紀要第六号発刊

〈掲載論文目次〉

知識社会学の成立と世界観学

千葉 芳夫

日本僧伝文学の研究史と課題

—— 古代・中世を中心に ——

石橋 義秀

近代大谷派教団社会事業の研究

—— 大草慧達(慈善事業) ——

佐賀枝夏文

指定研究「真宗学事研究」

史料紹介 『本山上檀古記録拔萃』

Bibliography of Foreign- language

Articles on Japanese Buddhism 1960

to 1987 Overseas Buddhist Study

Research Project Team

A Comparison of the Alayavijnāna

with Freud's and Jung's Theories of

the Unconscious William Waldron

On the “Paracanonical” Tradition of

the Tibetan Version of Nāgārjuna's

Ratnavali Michael Hahn

Ching-ying Hui-yuan's Position on

Devotion and Visualization: Reevalua-

tion of Causal Practices for Rebirth in

Chinese Pure Land Buddhism

Kenneth Tanaka

近畿地方の重力探査データのコンパイル

西田 潤一

チベット語訳『歎異抄』

白館 戒雲(ツルティム・ケサン)

真宗総合研究所

◇ 真宗学事研究研究会

* 十二月十五日(木) 午後四時

於 会議室(研究所内)

「新潟県内学寮関係寺院調査報告

—— 水原無為信寺、出雲崎善乗寺・

浄厳寺・光照寺・浄玄寺 ——」

研究員 木場 明志

研究補助員 山口 昭彦

* 三月二十九日(水) 午後三時

於 会議室(研究所内)

「近代仏教史学の萌芽」

嘱託研究員 柏原 祐泉

◇ 海外仏教研究研究会

* 十二月一日(木) 午後四時十分

於 会議室(研究所内)

「ウィーン大学留学報告

—— ヨーロッパの宗教事情 ——

佐藤 智水氏

* 十二月十三日(火) 午後四時十分

◇研究所報第二十号発刊

〔掲載内容目次〕

真宗と歴史の接点

鈴木 幹雄

真宗大谷大学の性格について(上)

櫻部 建

アメリカ仏教学の歴史的社会的背景

清田 実

研究の現場より

インド・マドラス・アジア文化研究所

彦坂 周

高倉学寮ゆかりの寺坊をたずねて

深田 虎雄

◇大谷大学所蔵西蔵藏外文献叢書Ⅱ

知識論決沢広註『善釈要集』発刊

真宗学会

◇卒業論文中間発表会

十二月七日(水) 午後二時三十分

於 多目的ホール

一、願生の仏道

西坂 孝介氏

一、信心の力働原理としての如来回

向

武田 浩学氏

一、「いなかのひとびと考」

菊轡 真隆氏

一、方便と真実——三心釈を中心として——

三桐 朋美氏

一、元祖から宗祖における観経観の展開

矢守 祐機氏

一、愚禿釈親鸞

園家 信勇氏

一、本願の機

毛利 信順氏

◇真宗学会例会

十二月十三日(火) 午後四時三十分

於 多目的ホール

占部観順の生涯と教学——『教行

信証拾穂録』を中心に——

畑辺 初代氏

◇真宗学会例会

一月十七日(火) 午後四時十分

於 多目的ホール

鈴木大拙英訳『教行信証』教巻に

ついて

樋口 章信氏

曾我量深の日蓮観

大城 邦義氏

仏教学会

◇山口益先生十三回忌法要並びに仏教学

会公開講演会

十二月六日(火) 午後四時十分

於 尋源講堂

講演

『維摩経』を機縁として

京都大学名誉教授 長尾雅人先生

本学名誉教授や諸先輩等山口益先生に

ゆかりのある方々の御出席を頂き、教

員・学生も多数参加して、十三回忌法要

がしめやかに行なわれた。引き続き、山

口益先生とも御縁の深い長尾雅人先生の

御講演を拝聴した。講演会終了後、多目

的ホールにおいて長尾先生を囲んで懇親

会が開かれ、山口先生を偲びながら一時

を過ごした。

◇研究発表例会

十二月十六日(金) 午後四時十分

於 三一〇三教室

「入中論第六章にみられる yoga の

用例を巡って」

博士後期課程三回生 加藤 均氏

「維摩経と吉蔵」

教授 三桐慈海氏

発表後、第一研究室分室Ⅰにて発表者

を囲んで座談会が開かれ、活発な質疑応

答があった。

◇卒業論文・修士論文梗概発表会

一月十九日(木)午後四時

於 多目的ホール

発表会終了後、学内食堂において「送別懇談会」が開かれた。

西洋哲学
倫理学会

◇西洋哲学・倫理学会秋期公開講演会が

左記の通り開催されました。

十二月七日(水)午後三時

於 尋源講堂

「カントとハーマン」

京都大学教授 磯江景孜氏

教員・院生・学生はじめ多数の参加者があり、活発な質疑応答が交されました。

宗教学会

◇宗教学会公開講演会

十二月三日(土)午後一時

於 尋源講堂

「神と空——仏教とキリスト教の接点」

奈良教育大学名誉教授 阿部正雄氏

学外からの参加者を含め、教員、院生、学生多数参加。

社会学会

◇社会学会公開講演会

十二月二十一日(水)十二時三十分

於 多目的ホール

「インド・ネパール・ブータン調査報告」

本学教授 岩田慶治氏

博士後期課程一回生 本林靖久氏

スライド上映もありこみ、盛況のうちに終了した。

教育学会

◇教育学会公開講演会

十二月十六日(金)午後二時三十分

於 尋源講堂

「戦後教育改革と現代の教育改革」

奈良女子大学教授 山田 昇氏

教員、院生、学生が多数参加。活発な意見の交換が行われ、盛況のうちに閉会。

日本仏教史学会

◇卒業生送別会

二月三日(金)六時

於 聖護院河道屋

参加 名畑教授、佐々木(令)助教授、

草野専任講師、院生・学生五十名。

◇四回生研修旅行

二月一九日(日)～二〇日(月)

永平寺・東尋坊方面

一日行程 J R京都駅集、東尋坊、芦

原温泉角惣泊。

二日行程 吉崎御坊、永平寺、現地解

散。

参加 名畑教授、学生十六名。

◇卒業生謝恩会

三月一七日(金)六時

於 キエフ

参加 名畑教授、佐々木(令)助教授、

草野専任講師、院生・学生二〇名。

東洋仏教史学会

◇卒業論文中間発表会

十二月十三日(火)午後四時

於 第三研究室分室2

四回生五名全員が発表し、活発な質疑

討論をおこなった。

出席者 滋賀教授、安藤助教授、大学院生・学生十五名。

◇卒業予定者を囲む予餞会

二月三日(金) 午時六時

於 祇園がかり火

出席者 教員・大学院生・学生十七名。

国文学会

◇『文芸論叢』第三十二号発行

(掲載論文目次)

『更科紀行』贅説

山本 唯一

『説教』名義考

後小路 薫

八幡宇佐宮御託宣集について——原託宣

集と現託宣集——

新聞 水緒

〈資料紹介〉

杜俊民著 篆刻隨筆「印道諸家確論」

水田 紀久

「洛水慧峰正統庵置大般若印版」云々刊記の「大般若波羅蜜多經」について

高橋 正隆

『三教指帰成安注』所引「玉篇」佚文集並びに研究・補遺篇——付・切韻等佚文——

佐藤 義寛

〈新刊紹介〉

入部正純著『日本靈異記の思想』

渡辺貞磨著『平家物語の思想』

中国文学会

◇中国文学一夜研修会

十二月五日(月) 九日(火)

於 博綜館第三会議室
カンボール京都

参加・平野・河内・若槻教授、吉井講師・特修員・院生・学部生 計三十四名。

四回生の卒業論文の中間発表を中心として、質疑応答が続けられた。

◇中国文学学術公開講演会

一月十一日(水) 午後二時半

於 尋源講堂

〔講題〕

唐詩とその時代的背景

立命館大学教授 笈 文生氏

平野・河内・若槻教授の他、院生・学部生および一般来聴の方々など、多数の参加をみた。

英文学会

◇大谷大学英文学会

十二月五日(月) 午後四時二十分

於 講堂棟多目的ホール

研究発表

自由使用への準備学習 鈴木 繁一氏

E. M. Forster の「東洋的なもの」への関心

出席者 英文を中心とする教員と学生

約一〇〇名

◇『英文学会会報』第十六号、三月に発行

目次

E. M. Forster の「インド的——東洋的なもの」への関心 築山 修道氏

自由使用への学習と大学英語教育

鈴木 繁一氏

ドイツ文学会

◇大谷大学独文学会 公開講演会

十二月十三日(火) 午後二時半

於 博綜館第四会議室

「十八世紀後半のドイツ文学情況」

大阪大学教授 波田節夫氏

出席者 岸教授、友田助教授、学生二十名

十名

◇「ゲーテ自然科学の集い」京都研究会

十二月十七日(土) 午後一時

友田 孝興氏

一月十四日(土) 午後一時
三月十一日(土) 午後一時

於 博綜館第三会議室

◇大谷大学独文学会研究旅行

三月十八日(土)～二十日(月)
行き先 池ノ平東本願寺青少年研修セ

ンター

目的 卒論の講評と二、三回生の今後の
研究指導

参加者 岸教授、友田助教授、禿専任
講師、学生十五名

西洋文学研究会

◇『西洋文学研究』第九号、十二月に発行

目次

ジョイスとイエイツの顕現^{エピファニー}——隱喩
の詩学——

内藤 史朗氏

情念と理性について——十七世紀のフ

ランス思想——

西井 元昭氏

初期ウォートンのホーソンの側面

島津 厚久氏

Goethes "Gegenständliche Dichtung"
und die Rezeption der indischen
Literatur

短期国文科

◇「大谷大学短期大学部・国文科紀要」

第十一号発行

〈目次〉

巻頭言

片岡 了

『源氏物語』研究——花散里について

上田 千草

『笈の小文』と芭蕉の書簡研究

草野 直美

『こころ』研究

利岡 美和

『菊花の約』研究——結末部考——

西田 泰子

『金色夜叉』研究

和田 知子

右五編の秀作の後に、卒業生全員の論

文要旨(各八百字)を掲載した。

〔三月十日刊 B5版 一四四ページ〕

幼児教育科

◇仏教保育総合研修会

十二月十七日(土) 午前九時～十八日

(日) 正午 (一泊)

《研修テーマ》『遊びイキイキ』

《場所》大谷婦人会館

《講師》財団法人ブレイスクール協会

理事長・学校法人雑創の森

学園理事長

小笠原浩方氏

◇『卒業研究』第二十二集発行

卒業生全百五名の「卒業研究」レポー
トの要旨を各自約千三百字で掲載。